

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	矢高共同調理場設備更新事業	会計	一般会計	事業No.	688	施策順No.	22-021
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-6-4-12-3		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	学校教育課		
施策	22 義務教育の充実			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	調理場・児童・生徒						A十分達成した Bどちらかといえは達成した Cどちらかといえはできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		矢高共同調理場の担当する児童生徒数	5058	5023	4942	4880	4880	
		配食担当校	9	9	9	9	9	
意図	学校給食を楽しみにして健康で楽しい学校生活を送ることができる							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	学校給食に対する満足度(%)				99	99	99	A
	食中毒等事故発生件数	0	0	0	0	0	0	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度に計画を策定、23年度から実施。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p><細々目>事業名:調理場整備事業費</p> <p>1 飯田市の約6割の学校給食を調理する矢高共同調理場の設備更新</p> <p>(1)平成8年3月竣工、総事業費772,765千円、うち厨房機械・器具備品198,000千円は15年が経過する中で大半の設備が更新時期を迎えている</p> <p>(2)矢高共同調理場には6000食対応の大規模機械が設置されており、故障時の修理が容易でない点、人力作業での補充が困難な点を考慮すると設備更新が急務</p> <p>(3)設備更新内容</p> <p>①食器浸漬機・食器供給装置・食器整理装置の交換 ②システム洗浄機オーバーホール(後期)・コンテナ洗浄機オーバーホール</p> <p>③蒸気ボイラー更新 ④棚回転保管機オーバーホール ⑤連続フライヤー更新 ⑥コンベヤ式焼物機更新 ⑦汚水処理施設空気配管交換</p> <p>⑧調理場内給水管交換</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 設備機器更新計画の作成	1日の給食供給総数 配食校数	5177食 9校
23年度実施計画	1 食器浸漬機・食器供給装置・食器整理装置の交換 2 数カ年計画の初年度、緊急性の高いものから順次実施	1日の給食供給総数 配食校数	5177食 9校

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源			16,000	
		計(A)	0	0	16,000	
		正規職員所要時間		80		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		286		
		トータルコスト A+B		286		

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>保護者や市民から、安全で安心な給食の提供を続けて欲しいという要望がある。</p> <p>市議会では、城産域消の推進のため、地元産品を積極的に学校給食に使用し、利用率を高めるよう意見がある。</p>

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもたちが学校給食を楽しみにして健康で楽しい学校生活を送ることを通じて生きる力をつける	施策の成果指標又はムトス指標	学校が楽しいと感じている児童生徒 ア)小学生 イ)中学生 体力測定の結果 ア)小学生 イ)中学生
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	・平成21年度に緊急工事として地下ビット内配管工事を実施したが、計画的に更新を行い故障リスクを軽減する。		
	後期に向けた課題	・工事は夏期休みを利用しているが、工期が限定されることへの影響をについて検討を要す。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	・故障発生箇所への緊急対応を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・大きな故障により、給食提供に支障があるような事故が発生することを未然に防ぐ必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	・臨時的な対応も含めてきた。		
	後期に向けた課題	・緊急度の高い設備を計画的に更新していくが、性能が改善された設備への変更、汎用性の高い設備への変更を行っていくことが課題。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・学校給食設備は、設置者たる市の負担が適当である。		
	後期に向けた課題	・市の負担以外での検討。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	・平成22年度までは飯田市調理員+飯田サービスセンター調理員が設備を使用。 ・平成23年度に全面飯田サービスセンターに委託できるよう引継ぎを行ってきた。		
	後期に向けた課題	・飯田サービスセンター職員が機器操作をすることで営繕が課題となった。機器の不調を早期に発見できる職員体制に課題。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・稼働から10年経過した頃から計画的な設備更新を行うことでリスク回避が可能だった。		
	後期に向けた課題	・給食提供を行わない夏期に集中して更新工事を実施していく必要があり、優先度を付けて順次更新を行っていく。 ・配食校への影響が最小限となるよう配慮することが課題。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------